

The Japan Society of International Economics 2025年12月26日



日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巣町518 司ビル3F
国際ビジネス研究センター内
Tel : 03-5273-0473 Fax : 03-3203-5964
E-mail : jsie@ibi-japan.co.jp

卷頭言

ミクロデータを使用した研究ハブ機能を持つ日本国際経済学会

日本国際経済学会 関東支部代表・理事
乾友彦

昨年10月4日、5日の両日に中央大学にて第84回全国大会が開催されました。当該大会において、創立75周年を記念して「21世紀前半の国際経済学会の発展」と題するシンポジウムが実施されました。シンポジウムの登壇者から様々な視点で国際経済学の最近の動向について報告がありました。その中で Andrew B. Bernard 教授 (Dartmouth College) は "The Transformation of Empirical International Trade in the 21st Century: The Rise of Data" と題する講演を行い、2000年以降における国際経済学におけるミクロデータを使用した分析の動向が紹介され、今後ミクロデータを使用した分析の重要性がより一層高まっていくことが予想されると結論づけました。加えて石川城太教授 (学習院大学・一橋大学) の講演、"A Trade Odyssey in the 21st Century" では、2000年以降の国際経済学の理論的発展をサーベイし、ミクロデータを使用した分析に呼応して理論が発展してきたことを講義されました。さらに神事直人教授 (京都大学) による "The Challenge of Japanese Micro Data and the Perspective of Law and Economics in International Economics" と題する会長講演では、日本の企業レベルのデータ使用した代表的な研究例が紹介されました。

日本国際経済学会においても、学会員による優れた実証分析による国際経済学への貢献が拡大しています。また教育面においても、昨年1月に関東支部の部会で開催された学生による研究報告において、多数の実証分析の結果が報告されました。分析の手法はミクロ実証分析の先端的な方法も活用されており、指導教官が実証分析の教育に熱心に取り組んでおられることが伺われました。最近の経済学は、より粒度の高いデータによる分析が求められています。近年は財務省が課税データの使用を研究者に認めたことから、企業の貿易動向について、各製品の数量、価格、輸出入先の相手企業等、粒度が高く正確な貿易データを使用した分析が可能になり、日本国際経済学会に所属する学会員の方々が精力的にその分析に取り組んでいます。ただ、その際各種ミクロデータを活用した分析が求められますが、残念ながら日本のミクロデータは必ずしもユーザフレンドリーな形で整理されてないことから、その整理・分析に多大の労力がかかるケースも多々あります。そこで数人の研究者が協力して分析することが求められる場面が多々生じます。また理論的分析と実証分析のバランスの取れた分析を実施するために、理論的な分析者と実証的な分析者の協業が必要となるケースが増加してきています。このような国際経済学の発展のなかで、理論的な分析家に加えて、実証分析に優れた研究者が急速に増えている日本国際経済学会は研究ハブ機能を発揮して、今後世界の国際経済学の発展に大きく貢献することができるものと信じています。

日本国際経済学会ニュース 2025年12月26日 目次

卷頭言	1	いて	6
◎令和7(2025)年度会員総会議事録	2	◎第85回全国大会開催機関とプログラム委員会について	7
◎第20回小島清賞の決定と受賞について	4	◎第21回小島清賞研究奨励賞について	8
◎第15回特定領域研究奨励賞(小田賞)の決定と受賞について	4	◎第16回特定領域研究奨励賞(小田賞)について	8
◎日本国際経済学会の対外活動について	4	◎本部・各支部事務局所在地	9
◎令和7(2025)年度新規入会者	5	◎入退会・住所変更の手続きについて	9
◎第15回春季大会の開催機関とプログラム委員会について		◎学会ホームページ情報ボードについてのお知らせ	10

令和7（2025）年度会員総会 議事録

日時：2025年10月4日（日）13時15分～13時40分

会場：中央大学多摩キャンパス FOREST GATEWAY CHUO 3階 HALL

オンライン：Webex により実施

会員総会に先立ち、神事直人会長（京都大学）より、第84回（2025年度）全国大会準備委員会委員長の小森谷徳純理事（中央大学）および準備委員会委員と、プログラム委員長である清田耕造理事（慶應義塾大学）およびプログラム委員会委員に対して謝辞が述べられた。

その後、当日開催された理事会の提案議事に従い、神事直人会長（京都大学）を議長として開催することが承認され、以下の事案について承認・発表等が行われた。

1. 2024年度事業報告について

標記について、神事直人会長（京都大学）より、以下の諸点に関する報告が行われた。

- (1) 第13回春季大会の開催（2024年6月1日 東北学院大学）
- (2) 第83回全国大会の開催（2024年10月5～6日 神戸大学）
- (3) 機関誌『国際経済（日本国際経済学会研究年報）』第76巻発行
- (4) 機関誌『The International Economy』Vol.27発行
- (5) 第19回小島清賞各賞及び第14回特定領域研究奨励賞（小田賞）の授賞
- (6) 韓国国際経済学会への研究者派遣

2. 2024年度一般会計決算（案）について

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より説明が行われ、審議の結果これを承認した。【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、3ページ参照】

3. 2024年度小島清基金決算（案）

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より説明が行われ、審議の結果これを承認した。【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、4ページ参照】

4. 2024年度特別事業活動基金決算（案）

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より説明が行われ、審議の結果これを承認した。【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、4ページ参照】

5. 2025年度事業案について

標記について、神事直人会長（京都大学）より、以下の事業案が提案され、審議の結果これを承認した。

- (1) 第14回春季大会開催（2025年6月14日 西南学院大学）
- (2) 第84回全国大会開催（2025年10月4～5日 中央大学）
- (3) 学会創立75周年（2025年）記念事業の実施
- (4) 機関誌『国際経済（日本国際経済学会研究年報）』第77巻発行予定
- (5) 機関誌『The International Economy』Vol.28発行予定
- (6) 第20回小島清賞各賞及び第15回特定研究領域奨励賞（小田賞）の授賞
- (7) 韓国国際経済学会への研究者派遣
- (8) JSIE次世代ワークショップの開催支援（新規）【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、12ページ参照】

6. 2025年度一般会計予算（案）について

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より説明が行われ、審議の結果これを承認した。【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、5ページ参照】

7. 2025年度小島清基金予算（案）について

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より説明が行われ、審議の結果これを承認した。【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、6ページ参照】

8. 2025年度特別事業活動基金予算（案）について

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より説明が行われ、審議の結果これを承認した。【「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、6ページ参照】神事直人会長（京都大学）から、補足として、創立75周年記念事業について、寄付のあった会員及び江草基金からの助成金によって運営されていることの説明があり、このことに対して謝辞が述べられた。

9. 新入会員について

標記について、神事直人会長（京都大学）より、「日本国際経済学会ニュースレター」2025年9月1日、8ページに掲載された26名と1社に加えて、本日の理事会において、新たに9名の個人会員及び1社の法人維持会員の入会が、また2名の再入会が承認されたとの報告が行われた。

10. 2024年度準会員の登録実績について（報告）

標記について、川越吉孝特命理事（京都産業大学）より、2024年度末時点での準会員登録者数は8名で、これらの登録は去る5月31日に削除され、現時点での登録者数は2名となっていることについて報告が行われた。

11. 第15回（2026年度）春季大会・第85回（2026年度）全国大会の開催機関について

標記について、神事直人会長（京都大学）より、第15回（2026年度）春季大会は新潟県立大学において、佐藤仁志幹事（新潟県立大学）を大会準備委員会委員長、伊藤萬里常任理事（青山学院大学）を大会プログラム委員会委員長として、2026年6月6日（土）に開催予定であるとの発表が行われた。大会準備委員およびプログラム委員は投影資料の通りであることが発表された。

また、神事直人会長（京都大学）より、第85回（2026年度）全国大会は同志社大学において、田淵太一理事（同志社大学）を大会準備委員長として、2026年10月3日（土）～4日（日）に開催予定であるとの発表が行われ、大会準備委員は投影資料の通りであることが発表された。その後に、田淵太一理事（同志社大学）より挨拶がなされた。

12. 第85回（2026年度）全国大会のプログラム委員会委員長について

標記について、神事直人会長（京都大学）より、丸山佐和子特命理事（近畿大学）を第85回（2026年度）全国大会のプログラム委員長に指名し、プログラム委員は投影資料の通りであることが発表された。

13. その他

（1）出版委員会

出版委員会委員長の伊藤恵子常任理事（千葉大学）より、通常、共通論題は、機関誌『国際経済』に掲載することになっているが、創立75周年記念シンポジウムに関しては、英語で実施される事から、『The International Economy』に掲載されるとの報告があった。そのため、『国際経済』の紙幅に余裕があると見込まれるため、会員への投稿の呼びかけが行われた。

（2）その他

会員総会に出席している会員より、討論者のいない形での報告を希望する旨の発言があり、神事直人会長（京都大学）より今後検討を行うとの回答があった。

第20回（2025年度）小島清賞の決定と受賞について

日本国際経済学会小島清基金運営委員会の選考により、第20回（2025年度）小島清賞が以下のように決定されました。第84回全国大会2日目（10月5日）に研究奨励賞および優秀論文賞授与式が執り行われ、胡雲芳先生の受賞記念講演「動学的貿易理論の進展：近年の理論的展開と数値的分析」が行われました。

- 研究奨励賞：胡雲芳氏（神戸大学）
- 優秀論文賞：倪彬氏（法政大学）

第15回（2025年度）特定領域研究奨励賞（小田賞）の決定と受賞について

特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会の選考により、第15回（2025年度）特定領域研究奨励賞（小田賞）の受賞者は、田中清泰氏（アジア経済研究所）に決定されました。第84回全国大会2日目（10月5日）に授与式が執り行われ、同日の分科会報告の中で、田中氏による受賞記念報告『相乗効果か相殺効果？日本における外資買収と企業生産性』が行われました。

日本国際経済学会の対外活動について

日本・韓国国際経済学会学術交流協定に基づき、2025年12月22日（月）に開催された2025年度韓国国際経済学会・冬季学術発表大会に、神事直人会長、川越吉孝特命理事、および研究報告者として以下の会員の方々が参加されました。

報告者

- 早川和伸氏（アジア経済研究所）： Trade Effects of US Tariffs under Trump 2.0
- 柳瀬明彦氏（名古屋大学）： International transfers of green technology and carbon mitigation outcomes
- 山内健太氏（香川大学）： Global Market Power of Japanese Multinational Firms



文眞堂

〒116-0041 東京都新宿区四谷三橋町10番地
TEL: 03-3202-4801 FAX: 03-3203-2638 URL: <https://www.bunjindou.co.jp> (英文)



ホームページ
試読できます

ア ジ ア 経 濟 入 門

ア ニ ャ は 多 様 性 と ダ イ ナ ミ ド バ ー ム を 特 徴 と し て 、 政 治 体 制 ・ 経 済 發 展 運 動 ・ 人 口 構 成 な ど 、 國 と 國 の 間 の 条 件 を 越 え な が い で 突 破 な 成 長 と 繁 衍 を 遂 げ て き た 。 本 書 は 初 學 者 や ア ヒ ト の 間 わ り を も つ ビジネス パ ー ン に 向 け て 、 地 域 編 と テ ー マ 編 に 分 け 、 歷 史 的 総 護 か ら 最 新 の 調 研 ま で を 紹 介 的 か つ 体 系 的 に 解 説 す る 。

石川 幸一・馬田 啓一・清水 一史・助川 成也 編著

予価2,750円

回 想 マ ル ク ス 貨 幣 ・ 信 用 論 の 虚 構

【好評既刊】「南から歴史と現在を読み解く知的試み！」
西谷修・工藤律子・矢野修一・所康弘著

「新刊」急成長を遂げてきたサムスンに迫る危機！
石田賛著

【好評既刊】「信用貨幣と金融資本論をめぐる争議を根底から問い直す！」
横枝嗣朗著

「新刊」國家と産業のダイナミクスを3つの視点から解説！
銀迪著

グローバルサウス入門

「好評既刊」「南の論理で読み解く多極世界」
西谷修・工藤律子・矢野修一・所康弘著

グローバルサウスとは何か？誰がそう呼ぶのか？その呼称にはどのような力學が潜んでいるのか？各執筆者がそれぞれの問題意識に基づき、西洋中心の世論観に異議を投げかけ、「南」の論理を浮かび上がらせる。グローバルサウスを知るうえから世界を理解するための重要な手かりとなる。

令和7（2025）年度新規入会者

令和7（2025）年10月4日に行われた理事会において入会が承認された方々を掲載しています。

※個人情報保護のため削除しました。

現実からまなぶ国際経済学

伊藤萬里・田中鮎夢著 四六判 定価2420円

「脱グローバル化時代」の国際経済学。

実証から学ぶ開発経済学

高橋和志・樋口裕城・牧野百恵編

有斐閣ブックス A5判 定価2860円
実証研究の成果をふんだんに取り入れた、新・定番。

新・東アジアの開発経済学

大野健一・桜井宏二郎・伊藤恵子・
大橋英夫著 有斐閣アルマ 四六判 定価2970円
東アジアのダイナミズムを「学問」する。

教養としてのグローバル経済

齊藤 誠著 A5判 定価2200円

新しい時代を生き抜く力を培うために
豊かな未来のために、正確に理解する。

これからの中日協力

高須直子・山形辰史編 四六判 定価2420円

私たちが望む未来のために
混沌とした時代に希望をつくる。



出版案内

〒101-0051
東京都千代田区
神田神保町2-17

（表示価格は税込）

最新情報は
こちらから
ご覧下さい。



<https://www.yuhikaku.co.jp/>

第15回（2026年度）春季大会の開催機関とプログラム委員会について

第15回春季大会は、2026年6月6日（土）に新潟県立大学において開催される予定です。第15回春季大会の準備委員会は、佐藤仁志幹事（新潟県立大学）を委員長として、鎌田伊佐生氏（新潟県立大学）、黒岩郁雄氏（新潟県立大学）、中島朋義氏（新潟県立大学）、李春霞氏（新潟県立大学）の計5名で構成されることになりました。またプログラム委員会は、伊藤萬里常任理事（青山学院大学）を委員長として、荒知宏氏（福島大学）、黒岩郁雄氏（新潟県立大学）、細井長理事（國學院大學）、吉元宇楽氏（横浜国立大学）の計5名で構成されることになりました。



**Think
Unlimited**

煩雑なデータ収集から解放され、研究の本質に集中しませんか？
R, PYTHON, STATAユーザー必見。国際貿易データの取得・解析を劇的に効率化します。

国際経済学の研究に不可欠な貿易統計データ。
しかし、その収集、クレンジング、統合には膨大な時間と労力がかかるいませんか？
Global Trade Trackerは、あなたの研究プロセスを根本から変革します。

OUR SERVICES:

- プログラム解析に最適化されたデータ形式：バッチデータとして、**R**や**Python**、**STATA**などの各種統計ソフトで即座に利用可能な形式でダウンロードできます。API連携により、最新データを自動で取得することも可能です。
- 圧倒的な網羅性と信頼性：世界約**200**の国・地域の、**HS**コード分類に基づいた詳細な品目別貿易データを収録。主要統計機関からのデータに基づき、月次更新される信頼性の高いデータを提供します。
- ミラーレポート機能：自国の発表データと貿易相手国側から見たデータを即座に比較・検証できます。データの信頼性評価や、統計誤差の原因分析など、より高度な研究を可能にします。

CONTACT US:
 inquiry@vistarize.com

WEBSITE: www.vistarize.com

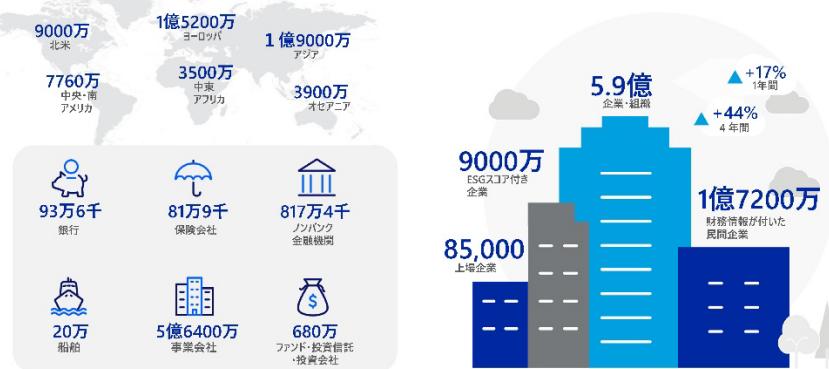
第85回（2026年度）全国大会開催機関とプログラム委員会について

第85回全国大会は、2026年10月3日（土）・4日（日）に同志社大学において開催される予定です。第85回全国大会の準備委員会は、田淵太一理事（同志社大学）を委員長として、山本和博氏（同志社大学）、五百旗頭真吾氏（同志社大学）、久松太郎氏（同志社大学）、西川純平氏（同志社大学）、遠藤敏幸氏（同志社大学）、朱浩良氏（同志社大学）、Fukushima, Marcelo氏（同志社大学）の合計8名で構成されることになりました。またプログラム委員会は、丸山佐和子特命理事（近畿大学）を委員長として、浅海達也氏（桃山学院大学）、五百旗頭真吾氏（同志社大学）、板倉健幹事（名古屋市立大学）、黒川義教幹事（筑波大学）、佐野聖香幹事（立命館大学）、西山博幸理事（兵庫県立大学）、松浦寿幸理事（慶應義塾大学）の合計8名で構成されることになりました。



Orbisのデータカバレッジ

業種や企業規模を問わず、取得できる限りの企業情報を収集、整理してご提供しています。



Orbisのコンテンツ

Orbisには主に以下のような情報がグローバル同一形式整理され収録されています。

	基本情報	英語・現地語の企業名、所在地情報、連絡先、企業ID等の情報をもとに実在性を把握
	法的状況	企業の法的な稼働状況、履歴、企業名等の変更履歴などの状況を提供
	財務情報	各国の異なる会計科目を統一フォーマットに集約
	信用リスクスコア	22段階で算出される世界横断的かつ客観的な指標を提供 最小限の情報しか入手できない場合でも、同じ形式で評価を取得可能
	デフォルト確率	情報量に応じて最適なモデルを自動で判別し算出 これにより、さまざまな企業のリスクを簡単に比較可能
	出資関係情報	多数の情報提供元からの出資関係をBureau van Dijkでリンク付け 企業グループ、出資元の企業／個人、ベネフィシャルオーナーの特定に寄与
	役員情報	企業に属する役員の役職や概略、兼務先企業を収録
	産業分類	各国の異なる産業分類体系を、NAICS、US-SIC、NACEコードの3つに互換させ、全世界の企業に対して横断的な分析を可能に
	コンプライアンス情報	公的要人(PEPs)、Sanctions等の情報を、企業、役員情報と連携し、調査対象企業や出資関係のある企業の一括コンプライアンスチェックを可能に
	ニュース	全世界の企業に関するニュースを4時間ごとに更新し、企業情報とリンク付け 最新の動向をとらえることで、企業の動向把握や、出資関係情報の更新をスピーディに
	M&A / ESG etc.	企業情報を補完する多岐にわける情報を保有 目的別の専用データベースも提供

第21回（2026年度）小島清賞研究奨励賞について（お知らせ）

日本国際経済学会・小島清基金運営委員会委員長
遠藤 正寛

日本国際経済学会小島清基金運営委員会では、2026年度（第21回）小島清賞研究奨励賞の受賞者選考に際しまして、学会員の皆様からの推薦（自薦を含む）の形で候補者に関する情報を幅広く受け付けています。小島清賞の詳細は、本学会ウェブサイトをご覧下さい。

ご推薦いただける方は、下記の宛先まで、メール、もしくは郵送で、候補者に関する情報（推薦書）をお寄せください。いずれの場合も、推薦書には、候補者の氏名、所属、業績、その他推薦理由となる事柄をお書きください。様式は自由です。また、推薦者ご自身の氏名、所属、連絡先（電話、電子メール）もあわせてお知らせください。ご推薦の締め切りは2026年3月31日（火）とさせて頂きます。なお、今回お寄せいただいたご推薦は2年間有効（2026年度と2027年度の小島清賞研究奨励賞の選考において有効）となります。なお、受賞者の発表は学会ホームページのinformation欄にて、7月上旬に行う予定です。

メール送信先：日本国際経済学会 小島清基金運営委員会事務局
(bito@aoyamagakuin.jp)

郵送先：〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学経済学部
伊藤萬里研究室気付
日本国際経済学会 小島清基金運営委員会事務局

第16回（2026年度）特定領域研究奨励賞（小田賞）についてのお知らせ

日本国際経済学会・特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会委員長
神事 直人

特定領域研究奨励賞（小田賞）は、「世界で活躍する国際経済学研究者を育成すること」を目的とし、次のような事業を内容とするものです（詳しくは学会ホームページをご覧ください）。

- (1) 国際貿易・貿易政策に関する優れた研究を行い、外国の査読付き雑誌に論文を掲載した学会員を顕彰する（審査対象論文は候補者の近刊および過去のすべてのものを含む）。
- (2) 受賞者は受賞年度3月末の時点で45歳以下とし、原則として毎年1名とする。
- (3) 受賞者には賞金10万円を授与する。

候補者は、自薦または審査委員会の推薦により、選ぶものとされています。自薦いただける方は、2026年5月末日までに、論文および略歴・業績表を、審査委員長（神事直人：head-office@jsie.jp）宛までお送りください。なお、受賞者の発表は学会ホームページのinformation欄にて、7月上旬に行う予定です。

本部・各支部事務所所在地

【本 部】 日本国際経済学会 本部
〒162-0041 東京都新宿区早稻田鶴巣町 518 司ビル 3F
国際ビジネス研究センター内
Tel: 03-5273-0473 Fax: 03-3203-5964
E-mail : jsie@ibi-japan.co.jp

【本部事務局】 日本国際経済学会 本部事務局
〒603-8555 京都市北区上賀茂本山
京都産業大学経済学部 川越吉孝研究室 気付
E-mail: head-office@jsie.jp

【関東支部】 日本国際経済学会 関東支部事務局
〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町 2-3-1
日本大学法学部政治経済学科 羽田翔研究室 気付
Tel: 03-5275-8655 (研究室直通)
E-mail: jsie-kanto@jsie.jp

【中部支部】 日本国際経済学会 中部支部事務局
〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畠1
名古屋市立大学大学院経済学研究科 板倉健研究室 気付
Tel: 052-872-5805
E-mail: jsie-chubu@jsie.jp

【関西支部】 日本国際経済学会 関西支部事務局
〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1
立命館大学経済学部 市野泰和研究室 気付
Tel: 077-599-3039
E-mail: jsie-kansai@jsie.jp

【日本国際経済学会ホームページ】 <https://www.jsie.jp/>

入退会・住所変更の手続きについて

- ① 入会の申請は、2019年10月からオンラインでの入会申請が学会ウェブサイトから可能となっておりますので、そちらから入会申請をお願いします。また、退会希望は、会員情報システムにて退会手続きをするか、国際ビジネス研究センターにその旨メールでお知らせください（郵送も可）。
- ② 所属機関や住所変更等の異動は、会員情報システムを通じて行っていただきますよう、お願い致します。もしもまだ会員情報システムにログインされたことがない場合、2019年3月に郵送いたしました「会員情報システム（SMMS）の導入に伴う会員情報登録・確認のお願い」をご覧ください。もしもお手許になく、ログインIDや初期パスワードが分からぬ場合は本部事務局 (jsie@ibi-japan.co.jp)までお問い合わせください。

学会ホームページ情報ボードについてのお知らせ

学会ホームページ内に会員相互の情報交換のための掲示板（「情報ボード」）を設置しています。会員向けに簡易なパスワード（PW）を設定し、「利用規約／プライバシー・ポリシー」を承認した会員（等）のみが投稿できます。

- ・ 簡易な PW は、原則として年に1回程度変更します。本年度は年末または年始に変更します。
- ・ 情報ボード用新パスワード（PW）は、学会ホームページの「会員ログイン」から、「会員メニュー」→「情報ボードについて」でご確認ください。
- ・ 利用規約／プライバシー・ポリシー等は、ホームページで確認願います。
- ・ 「情報ボード」には、準備のできたものから順にいくつかのコーナーを用意し公開します。情報ボード A は、研究会・シンポジウム等の案内用です。
- ・ 投稿の条件は、①会員にとって有益な情報であること、②開催日時・開催場所・参加条件・連絡先・アクセス方法を PDF ファイルか大学等機関の HP リンク先として提供すること、③学会員か報告者・登壇者・企画者等として関与していること、④商業ベースでないこと（法人維持会員はこの限りでない）です。
- ・ 以下情報ボード B～D についても、どうかご活用ください。

情報ボード B：ジョブ・サーチ（求職／職の募集など）

情報ボード C：会員の著作紹介

情報ボード D：その他